



建交労



2021年12月19日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2021年秋季年末闘争 No.10

2021年度推進ニュース⑥通算240号

発行責任者 小島 茂

学習を強め仲間を増やして現状打開を決意 12.18 弥生京極社班が第1回大会を開催！

神奈川県南支部合同分会に所属する弥生京極社班は、12月18日午後から横浜市神奈川区にある菅田地区センターで第1回大会を開催しました。

班の結成・公然化は昨年9月30日でしたが当時は組合員が現在の原委員長1名であったため大会は開催していませんでしたが、班長の奮闘で今年の6月～7月に3名のなかまが建交労に加入し影響力を広げてきました。

年末一時金闘争では県本部や支部、地区労連の援助を受けずに団体交渉を行って妥結をはかるなど力量を付けるなかで大会の開催に至りました。

大会は、班の将来性に期待して神奈川県本部の伊藤委員長（右写真上）自らが希望して激励に駆けつけ、支部からは大島書記長（右写真中）と、金崎書記次長（右写真下）が参加、支部大会並みの顔ぶれが参加するなかでの開催となりました。合同分会からは赤羽が対応しました。



主催者挨拶を行なった原班長（左写真上）は、昨年9月末の班結成から今日までの運動を振り返りながら今後の課題克服に向けて学習の強化と仲間を増やす決意を述べました。

激励・連帯の挨拶では、伊藤県本部委員長が班の将来展望について大きな期待を寄せると同時に労働者・建交労組合員としての自覚を高めることの大切さに触れて班を激励し来年の大会にも参加することを約束しました。

つづく大島支部書記長は、班が会社からギャフンと言われないために学習・教育活動への協力を惜しまない。組織拡大に全力を上げるよう呼びかけました。金崎書記次長は、21春闘で班がベアを勝ち取ったことや年末一時金交渉を独自に展開したことを評価し引き続きの奮闘に期待を寄せました。赤羽からは建交労の4つの指標を徹底するよう訴えました。

激励・連帯の挨拶後は、佐藤書記長（左写真上から2番目）が議案提案、会計報告は岡本会計担当（左写真上から3番目）が行い討論に入りました。討論では組合員4人全員が発言、それぞれが置かれている現状を克服するために建交労運動に結集する決意を述べました。4人の発言で共通していたのは学習活動の重視と組織拡大への熱い思いでした。討論の最後に伊藤県本部委員長から社内組合との共同や労使の信頼関係を築くことの重要性など組合活動における原則的かつ重要な話がされました。

役員選挙を含む全議案が全員賛成で採択、佐々木副班長（左写真一番下）が閉会の挨拶を行なったあと、原班長の発声でガンバロー三唱が行われ大会は成功裏に閉会しました。



内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

憲法改悪を許さない全国署名

行き詰まって相次いで政権を投げ出した安倍・菅政権をひきついだ岸田文雄政権は、2021年の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を手に入れました。岸田首相は中国や朝鮮を念頭に違憲の「敵基地攻撃能力の保有」となえ、歴代政権がかろうじて維持してきた防衛費の対GDP比1%以内の原則をも放棄して2%以上を主張するなど、米国をはじめ欧米諸国との軍事同盟を強化し、「戦争する国」づくりを進め、アジアの緊張を高めています。しかし、この道の障害になるのが憲法9条など、日本国憲法の理念です。

改憲派は次の参議院選挙をにらみながら、9条に自衛隊を書き込むこと、緊急事態条項を創設することなどを内容とする自民党改憲4項目案をベースにして、国会の憲法審査会での改憲案づくりを急ごうとしています。

私たちは国会が改憲の発議をすることを許さず、すべての戦争に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生向上などを実現する政治を求めます。

【請願事項】

- 1、自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目に反対します。
- 2、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます。

名 前	住 所

※いただいた署名は国会請願と首相への要請以外には使いません。

呼びかけ団体 9条改憲NO! 全国市民アクション

ホームページ: <http://kaikenno.com> メールアドレス: info@kaikenno.com

ツイッター twitter.com/no9kaikenno
インスタグラム [instagram.com/9jyokaikenno/](https://www.instagram.com/9jyokaikenno/)
フェイスブック [facebook.com/kaikenno/](https://www.facebook.com/kaikenno/)



kaikenno.com

連絡先

- 戦争をさせない1000人委員会 《☎03-3526-2920》
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
- 憲法9条壊すな! 実行委員会 《☎03-3221-4668》
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402市民ネット内
- 戦争する国づくりにストップ! 憲法を守り・いかに共同センター 《☎03-5842-5611》
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 九条の会 《☎03-3221-5075》
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつつあります。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏によびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
電話：03-5842-6031